

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-
gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8-25
TEL 087-825-0350
JF 香川漁連 FAX 087-851-0699

「香川ハマチ大使」審査会

県内でハマチ養殖が始まって80周年になるのを記念して県漁連や県などが募集していた「香川ハマチ大使」の審査会が8月29日(金)漁連会館5階中会議室にて行なわれた。

これは県魚のハマチなど、香川県産の魚介類の消費拡大、宣伝活動に協力してもらうもので、ハマチ大使には高松市多賀町の会社員畑中優さん(24才)、東かがわ市坂元の団体職員三谷幸子さん(29才)の2名が選ばれた。また、さぬき市長尾の団体職員戸田智子さん(23才)が審査員特別賞に選ばれた。任期は平成21年3月末まで。



左 三谷幸子さん
中央 畑中 優さん
右 戸田智子さん

ハマチ大使には県内から12名の応募があり、服部県漁連会長ら5人の審査員が面接などで審査を行った。面接ではハマチの売り込み方とか、魚に対する思いなどの質問をし、積極性や豊かな表現力等を持つ2人を選んだ。

ハマチ大使に選ばれた畑中さんは「多くの人にハマチの良さを知ってもらい」、三谷さんは「ヘルシーなハマチをもっとアピールしていきたい」と抱負を述べ、審査員特別賞の戸田さんは「県産の魚介類は安心・安全でヘルシーな食べ物であることを多くの人に伝えたい」と話していた。

ノリ着業検討会開催

香川県海苔養殖研究会(会長 森 朝征)は去る8月28日(木)から9月4日(木)にかけて平成20年度ノリ着業検討会を開催した。

本検討会は、毎年新漁期を迎えるに当たって、ノリ養殖業の安定と品質向上及び経営の合理化を目的に、海苔養殖指導指針や酸処理剤の取扱要領並びに乾海苔共販対策等を直接生産者に周知するため、関係機関の協力のもと例年各地区で開催している。本年度は県内3地区で開催し、ノリ養殖業者・漁業関係者が出席した。

8月28日(木) 東 讃 地 区
9月 2日(火) 高松・中西讃地区
9月 4日(木) 小 豆 地 区

検討会では「ノリ養殖指導指針について」や「酸処理剤取り扱い要領について」(事務局)「水温・栄養塩の動向について」(県水試)「漁場評価について」(県水産課)等の説明が行われた。今漁期のノリ作りについては、食品の安心・安全性が叫ばれている中で、特に異物混入等衛生対策についてはより一層強化する事が確認された。又、色落ち対策については活発な議論がかわされた。

検討会終了後、小浅商事(株)大阪支店長 水島 康氏、松谷海苔(株)代表取締役社長 松谷晃氏、浦島海苔(株)常務取締役 松本義昭氏から「乾ノリの消費動向について」、「香川県産乾ノリの評価・改善点について」をテーマにそれぞれ講演があり出席者全員が熱心に聞き入っていた。また、消費需給動向・共販価格等について活発な意見交換が行われた。

香川まるごとフェスタ2008 in サポート高松開催

香川まるごとフェスタ2008 in サポート高松が8月30日~31日の2日間、サポート高松で盛大に開催された。このフェスタは日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会の設立40周年を記

念したイベントで、出展ブースでは香川県産の食材を使用した「かがわ県産品フェスタ」、文化と歴史の「さぬき物産店」、「讃岐偉人伝」や「まちあるき観光パネル」等、アトラクションでは「高松市吹奏楽団」、「サヌカイト演奏」や「アンパンマンショー」等と多数行われ、訪れた家族連れなどで賑わっていた。

県漁連は「かがわ県産品フェスタ」の中のひとつ「2008秋だ、さぬきの新米フェア」に協賛し共販事業部より焼きノリを、加工事業部よりチリメンを「にぎってみよう!MY おむすび!!」でおむすびの具として提供した。このコーナーはイベント参加者がおむすびを作り、懐かしい竹皮に包むこともできるということで、年配の方から小さいお子さんまで多くの方が参加していた。



楽しそうにおむすびを作る家族連れ

おむすびの具にはノリが一番合うとの声が聞かれたり、なかには竹皮に包むまえに食べてしまう子供がいたりと盛況であった。また、県漁連が提供した焼きノリとチリメンは、あっという間になくなっていた。

今後こういった機会を利用し県内産水産物のアピールに努めたい。



「我が家のおむすび」コンテスト 応募ノミネット作品

ハマチ80料理コンテスト一次審査会

香川県産ハマチの新しい食べ方を県内の消費者や関係者を対象に募集し、新鮮で普及性のある調理アイデアを掘り起こすとともに、それらの情報を効果的に発信することにより、ハマチの地産地消と消費拡大を図ることを事業目的としたハマチ料理コンテスト(主催ハマチ養殖80周年記念事業実行委員会)の一次審査会が8月21日(木)漁連会館大会議室で開催された。

このコンテストのテーマは

(テーマ1)料理コンテスト:ごはんにあうハマチ一品料理

(テーマ2)アイデア募集:ハマチを使ったアイデア料理

上記2部門から構成され、(テーマ1)料理コンテストは学生の部(高校、短大、大学、専門学校生など)と一般の部に分かれています。



ハマチ料理コンテスト応募作品

一次審査では応募総数58作品を実行委員5名、料理専門家4名による書類選考がされ、料理コンテストでは部門ごとに5名の入賞者が決定し、アイデア募集では10名の入賞者が決定した。応募作品の中には洋食風にアレンジした作品、アボガドを使った作品、マヨネーズを使った作品等で審査員も驚く作品が多数出品されていた。

今後の予定

料理コンテスト部門は平成20年10月5日(日)高松市番町香川県社会福祉総合センター調理実習室にて入賞者による実技審査を行い、優勝作品等を決定する。

アイデア料理部門は同日10名の入賞者から優勝作品等を決定し、入賞者には賞金等の発送

もって通知にかえる。

入賞作品は、料理集や関連のホームページなどで公表する。また、料理専門家等の監修のもと、必要に応じ若干のアレンジを加えたうえで、ハマチ養殖80周年記念事業実行委員会が主催する料理講座用レシピとして使用する。

可能性は少ないと予想されるが、今後ともその動向については十分に注意を払うこととする。

以上

第28回全国豊かな海づくり大会 にいがた大会開催

9月6、7日の両日、天皇・皇后両陛下をお迎えし、新潟県新潟市万代島地区において「生きている生かされている この海に」を大会テーマに第28回全国豊かな海づくり大会にいがた大会が開催された。会場には2日間で約4万7千人を超える人が来場し盛況であった。本県からは5名が参加した。

式典で天皇陛下は「2度にわたる震災を乗り越えた新潟県で開催されるこの大会が、海や漁業への関心と理解を深め、豊かな海をつくるための契機となることを願います」とお言葉を述べられた。また、服部大会推進委員会会長（JF全漁連会長）が大会決議を朗読し満場の拍手をもって採択された。

来年は東京都にて開催予定。

赤潮終息宣言を公表

香川県魚類養殖業赤潮対策本部（本部長：服部郁弘県漁連会長）は7月14日にシャットネラによる赤潮注意報第1号を高松市庵治町竹居観音崎～小豆郡小豆島町地蔵崎を結んだ線以東の香川県海域に発令以降、9月16日、今後海水温の下降が予想され、養殖魚類に被害を及ぼす有害プランクトンの赤潮発生の可能性が低くなったとして、赤潮終息宣言を公表した。宣言文は下記のとおり。

記

- 1、今夏のカレニア ミキモトイ等の魚類大量斃死原因赤潮が発生する可能性は少なくなったものと判断し、発令中のすべての赤潮注意報を解除する。
- 2、現在の海況からみて、魚類養殖に被害を及ぼす有害プランクトンについては、赤潮を形成する

伝えたいさめきの郷土料理

いもたこ

材料（4人分）

里いも	800g
たこ	500g
しょうゆ(濃口)	100cc
砂糖	50g
みりん	大さじ1
酒	大さじ1

作り方

たこは塩でもみ、さっとゆで、適当な大きさに切る

里いもは皮をむいて小口に切り、塩でぬめりを取っておく。

鍋に調味料、里いも、たこを入れて煮る。



主な行事予定(10/1~10/31)

- | | |
|----------|-----------------|
| 10月5日(日) | ハマチ料理コンテスト最終審査会 |
| 21日(火) | 香川ブランドハマチ内覧会 |
| 26日(日) | ハマチハンター選手権大会 |
| 30日(木) | 香川県海苔生・販代表者会議 |



こんにちは、坂出税関です

Vol.3

「薬物及び銃器取締強化期間」実施のお知らせ

神戸税関坂出税関支署は、10月の1ヶ月間を「薬物及び銃器取締強化期間」として、社会悪物品の摘発及び防あつに資するため、取締関係機関との連携をより一層密にし、水際での取締強化を図っていますので、本取組みに対する香川県漁業協同組合連合会の皆様方のご理解とご協力をお願いします。

日本で摘発される不正薬物や銃器の大半は海外からの密輸品で、坂出税関支署管内でも本年3月、高松港において身辺に「覚せい剤約1.3キロ」を隠匿し密輸入しようとした外国籍船舶の乗組員を摘発したように、香川県下も決して安全とはいえない状況にあります。

また、空港においても、善良な一般旅客になりすまし、掲載写真にもありますように菓子箱内に麻薬等を隠匿し、不正に持ち込もうとする事例が見られます。

このように、税関職員の手薄な地方港等を狙ったり、身の回り品等に巧妙に隠匿したりするなど、密輸の手口は益々悪質・巧妙化しており、更に、近年はGPSや携帯電話の普及等、通信手段の発達に伴い、益々摘発が困難になっている状況にあります。

このような中、税関では麻薬探知犬、X線検査機器等の取締機器を有効活用し、また、各種情報の入手、蓄積、分析等を行い、効果的に不正薬物等を水際で阻止できるように鋭意取り組んでいます。残念ながら国内では今なお、不正薬物や銃器が流通している状況にあります。

皆様方におかれましては、日常業務等において、「何かおかしいな?」と思う事例がありましたら、坂出税関支署、最寄りの税関出張所または24時間対応の密輸情報ダイヤル(0120-461-961)まで通報していただけるようご協力をお願いします。

『何かおかしいな?と思われる例』

- ・何か貨物が入っているような漂流物・漂着物を見つけたとき
- ・外国の船と頻繁に無線で交信をとっているあるいは沖合に向かって信号を送っている船を見かけたとき
- ・漁具を積まずに出港したり夜間に出入りする等不審な行動をとる船舶を見かけたとき



航空旅客が携帯する菓子箱内に合成麻薬等を隠匿した事例

税関ホームページ <http://www.customs.go.jp>

密輸ダイヤル 0120-461-961 (24時間365日受付)

【坂出税関支署】	0877-44-9211	坂出市入船町 1-6-10
【高松出張所】	087-851-2874	高松市朝日町 4-3-8
【丸亀出張所】	0877-23-7696	丸亀市蓬萊町 32-1
【詫間出張所】	0875-83-3071	三豊市詫間町詫間 1328-9